

- 1) テーマ：能登の自然と文化
- 2) カテゴリー：教育方法
- 3) 学校概要：七尾看護専門学校、石川県七尾市なぎの浦 156 番地、
課程名：3 年課程 1 学年定員数：40 名 修業年限：3 年



教育目標：能登地域で生活する人々や環境、文化を理解する。

学生の学び

のと里山里海ミュージアム館長 見学

のと里山里海ミュージアム

1 能登半島の歴史と文化

能登の自然と文化を学ぶことで私の地元の自然と文化を知りたいと思った。

生まれてからずっと石川県で暮らしてきましたが、石川県の歴史、自然、文化を学び、石川県名人になりたい。

2 七尾城と長谷川等伯

長谷川等伯の名前は知っていたが地元が違うため、詳しくは知らなかった。七尾にはまだ見つかっていない歴史もあるのではとわくわくした。

3 施設見学（のと里山里海ミュージアム）

改めて能登の祭りや文化など魅力を感じた。

4 西湊地域づくり協議会について

- 1) 七尾市地域づくりについて
- 2) 西湊地域づくり協議会活動内容

地域づくりでは様々な組織が集まり、市民の自律と共助に基づき、市民の力で安心、安全な地域づくりが行われている。お世話になっている地域コミュニティーのことをあまり知らなかったと思った。今後コロナ感染拡大の影響を受け地域のつながりが希薄になりながら、少子高齢化が進むことで地域の社会生活全体が不安定になる可能性を感じた。その不安に対し、いかに新しい町づくりを通して解決する仕組みを模索する必要がある。

5 山の寺寺院について（市民の憩いの場としての役割）

日本が他の国からどう見られているのか説明を受け、近隣の国の関係や朝鮮半島のことなど視点が違うことにつながった。知識を得て上に伸びるばかりででは途中で折れてしまうかもしれない。その中で、文化の学びは下に根を深くすることにつながると思う。この科目の必要性に気づけた。

6 山の寺寺院めぐり

妙観院の住職に山の寺寺院群と瞑想の道を案内していただいた。長谷川等伯が塗った仏像を見せていただききれいな色使いでとても感動した。

山の寺寺院群を見学し今までずっと大切にされてきたのだと思った。

京都と七尾のつながり、人と人のつながりがあり、それは七尾にとっての特徴の一つであると学べた。



由緒ある、田鶴浜の建具

花嫁のれん

長谷川等伯像

妙観院

歴史感じる、寺院めぐり。

